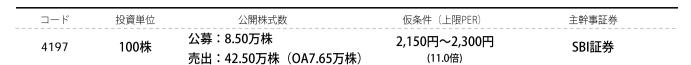


IPO銘柄

アスマーク (4197・スタンダード)





マーケティング・リサーチ事業を展開

■事業内容

マーケティング・リサーチ事業として、オンライン・リサーチ、オフライン・リサーチ、パネル・リクルーティングを手掛ける。オンライン・リサーチサービスは、課題整理、WEB調査表作成、依頼メール配信、実査(回答データ収集)、集計、調査レポート作成など。オフライン・リサーチサービスは、WEB上の対象者リクルーティング、オフライン・リサーチ実査、集計、調査レポート作成など。パネル・リクルーティングサービスは、クライアント自身がオフライン・リサーチを実施する際に、調査対象者をWEB上でリクルーティングしてパネルを実査会場へ誘導するまでの一連の業務を行う。2020年9月には仮想バックルームを実装したオンラインインタビューツール「i-PORT voice」をリリースしている。マーケティング・リサーチ事業の単一セグメント。

■特徴

パネルマーケット・リサーチサービスに関する国際規格「ISO20252」を取得済み。有効パネル数は100万人超、パネルの属性は男性が46%、女性が54%で、30~40代が全体の約5割を占める(6月末時点)。調査会社、広告代理店、一般消費財メーカー、マスコミ関連企業など多種多様な業界と取引実績があり、22年11月期末現在のクライアント社数は1,061社、クライアント窓口数は2,371窓口で、リピート率は95.3%と高い。

アナリストコメント

■定量分析

23年11月期の非連結経常利益 は前期比0.2%減の3億1,800万円 を計画する。既存顧客からの継続 受注、新規顧客からの受注獲得で 順調に推移。一方で、人件費や新 規事業に係る広告宣伝費などのコ ストが増加する。

■定性分析

TOKYO PRO Marketからのスライド IPO。マーケティング・リサーチ事業を手掛けており、ビジネスモデルに新鮮味が乏しい。業績も微減益見込みで高成長イメージを描きにくくなっている。

■需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14億円程度。軽量感が材料視される規模ではなく、需給妙味はそれほど大きくない。 既存株主にはロックアップ条項が付されており、市場に流出するリスクは小さい。 (小泉 健太)

■類似企業

アスマーク(4197・スタンダード)	予想PER 11.0倍 (仮条件上限)
クロス・マーケティンググループ(3675・プライム)	予想PER 6.1倍
GMOリサーチ(3695・グロース)	予想PER 14.3倍

■引受証券

SBI証券、大和証券、岡三証券、極東証券、松井証券、あかつ き証券



アスマーク(4197・スタンダード)

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
21年11月期(実績)	3,354	31.0	225	黒転	196	黒転	196.4	0.00
22年11月期(実績)	3,892	16.0	318	41.6	178	▲8.9	178.9	0.00
23年11月期(会社予想)	4,364	12.1	318	▲0.2	208	16.5	208.4	0.00

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
21年11月期	1,000,000	1,337	594	50	594.7	44.5	39.6
22年11月期	1,000,000	1,631	777	50	777.0	47.4	26.1

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	町田 正一	874,900	87.49
2	(株)ビデオリサーチ	50,000	5.00
3	町田 香織	30,000	3.00
4	(株)ドゥ・ハウス	25,000	2.50
5	木原 康博	20,000	2.00
6	(株)MAM	100	0.01

株主情報は5月31日現在

経営陣

	氏名	Ż
代表取締役	町田	正一
取締役 営業部長	水城	良祐
取締役 管理部長	飯田	恭介
取締役	木原	康博
取締役(監査等委員)	鈴之	木 親
取締役(監査等委員)	大区	内 智
取締役(監査等委員)	塩月	潤道



ウエルスアドバイザーIPOレポートの読み方

特徵

ウエルスアドバイザーIPO(※1)レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、ウェルスアドバイザーが位置する中立的な第三者としての立場からIPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング(※2)が始まる前にレポートを提供することにより、IPOへの参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。ウエルスアドバイザーIPOレポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間などIPO 日程のほか、ウエルスアドバイザーの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

- ※1 IPO (Initial Public Offering) :新規株式公開。
- ※2 ブックビルディング:引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と 今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務 安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げてPERを併記いたします。PERの水準は初値の参考指標として有効です。



本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様で自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、ウエルスアドバイザー株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります(手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により 異なることから記載しておりません)。詳しくは、SBI 証券WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項(利益相反関係等)についてはSBI証券WEBサイト(http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html)をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター(0120-104-214(携帯電話・PHSからは03-5562-7530))までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等:株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

一般計団法人第二種金融商品取引業協会